



フィリピンでの活動を中野祐介市長（左から3人目）に報告する静岡文化芸術大の学生ら＝浜松市役所で

フィリピンの児童に鍵盤ハーモニカ寄贈
文化芸大生ら1200台
静岡文化芸術大生らのボランティア団体「HANDS（ハンズ）」は、フィリピン・ダバオ市の子どもたちに中古の鍵盤ハーモニカ1200台を寄贈した。26日、浜松市役所を訪れ、中野祐介市長に活動を報告し

た。6年前から毎年100台ずつ贈ってきたが、今回は浜松市の小学校の協力や交流サイト（SNS）での呼びかけで多く集まった。昨夏に楽器の清掃と箱詰めをし、現地の小学校7校へ贈った。団体メンバー12人は2月20日から、このうち2校を訪問して交流会を開催。一緒に童謡「きらきら星」を合奏したり、折り紙を作ったりして親睦を深めた。団体代表の3年滝遥香さん（21）は「現地で楽器が子どもたちの手に渡り、喜んで使ってくれるのを見てとてもうれしかった」と振り返った。30、31日には浜松市中央区中央の市民協働センター（はまこら）で、フィリピンでの活動を紹介する写真展を開催する。（荒木正親）